



第七七〇回立教開宗会並  
 旭が森銅像建立  
 一〇〇〇年慶讃大法要及び  
 旭が森スロープ完成奉告式

清澄

令和4年3・4月  
 合併号

発行所  
 〒299-5505 千葉県鴨川市  
 清澄322-1  
 © 清澄寺  
 TEL 04 (7094) 0525 番  
 FAX 04 (7094) 0527 番  
 振替 00140-5-55501  
 印刷所  
 天津 (有)ブラザー印刷  
 送料共1部100円

お知らせ

4月

27日13:00  
 立教開宗会並  
 旭が森銅像  
 建立100年  
 慶讃大法要及び  
 旭が森スロープ  
 完成奉告式

19:00  
 報恩唱題行  
 求道同願会会長  
 桐谷僧正導師

28日 4:50  
 曉天法要

4月27日 午後1時より  
 日蓮宗管長  
 菅野日彰猊下御親修



地鎮式(旭が森祖師堂)



旭が森側道崩落



側道の土砂撤去



擁壁工事着工



練行堂付近



旭が森崩落直後手付かすの状態



スロープ上段より



側道入口付近



擁壁工事



スロープ工事



題目橋付近工事



完成したスロープ



銅像建立記念碑付近



申段より境内を望む



旭が森へ向かうスロープ



宗務総長視察



石畳整備

# 旭が森スロープ完成 までの経過報告

令和2年10月1日、地鎮式終了後に工事が始まり、本年4月15日に完成予定。4月27日立教開宗会に合わせ、完成奉告式が奉行される運びとなりました。これも皆様からの絶大なるお力添えを頂いているお陰で御座います。厚く御礼申し上げます。

平成25年10月の台風で崖崩落当時の状況から完成までの経過を写真で紹介致します。

# 令和3年度 第3回度牒交付式



令和3年度第3回度牒交付式が、3月28日に開催され、本来ならば、一泊二日の行程ですが、コロナ感染対策で28日のみになりました。今回、全国各地の寺院から23名の度牒生と付添者が来山されました。

受付を済ませた度牒生は、仏前所作や読経テスト、交付式の予行練習など、ハードなスケジュールをこなしておりました。

午後3時より、今回初めてお勤めされます田中恵紳



宗務総長を大導師に度牒交付式が執り行われ、度牒生一人ひとりに輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への慢心を仏祖三宝にお誓い致しました。

## 極真会館

### 千葉南支部様

今年も元気に稽古

極真空手の創始者大山倍達氏が清澄山で修行されたことは空手愛好者の中ではとても有名です。

記念碑は清澄寺の境内を望むところに建立されております。

今年も2月12日に市原市

にある極真会館千葉南支部の14名が参籠されて、稽古に励みました。

12日は稽古やレクレーション、翌13日早朝より稽古、午前中はマラソンと子供から大人まで一生懸命になっておりました。



## 道善御房 第747遠忌法要

3月16日は、日蓮大聖人の恩師である道善御房の祥月命日で、本年747回目の報恩法要を墓前にて厳修致しました。

導師を務められた金子別當は、日蓮大聖人が、道善



御房への想いを綴った御遺文『報恩抄』の一節「されば花は根にかへり、真味は土にとどまる。この功德は故・道善房の精霊の御身に集まるべし」と奏上し、御回向なされました。

## 春季彼岸供養

春季彼岸供養を3月18日より24日迄の一週間朝勤にてご回向いたしました。

お彼岸はご先祖様や有縁無縁の仏様を敬い供養を捧げるのと共に、自分自身の仏道修行をして善根を積む大

事な一週間です。

ご先祖様や有縁の亡くなられた方への感謝への思いにより、皆様から申し込まれた卒塔婆が彼岸中本堂に建てられ、18日の彼岸入りには佐野主事導師により読上げ回向されました。



## 暑さ寒さも彼岸まで

「暑さ寒さも彼岸まで」という季節になりました。外の陽気は、すっかり春めいて暖かい日が続いておりますが、彼岸入りから、真冬の寒さになり、22日には珍しく雪も積りました。

いよいよ来月には、旭が森スロープ完成奉告式を執り行います。

多くの方のご参詣をお待ち申し上げます。

合掌